

## 第 153 回 J M R C 中部運営委員会報告書

開催日時 2004 年 1 月 11 日 ( 火 ) 10:00 P M ~ 12:00 P M

開催場所 三重県鈴鹿市 鈴鹿サーキット 第 4 研修室 「あかしや」

### 《議題》

代表者会議での質問事項の検討  
各部会、各委員会検討課題、報告  
その他

### 《議事》

鈴木運営委員長の挨拶に続き、嶽下副運営委員長を議長として議事進行が行われた。

代表者会議での質問事項の検討

モビリティパークのコース許可条件

- ・許可条件については、J A F モータースポーツ局に委ねる。

共通規則書の配布方法

過去にいろいろな配布方法を試したが、決め手となる方法がない。ある所にはある。

新入会のクラブ員に渡せるようにしたい。

B ライ講習会で渡せるようにしてはどうか。

3,000 部印刷しているので 1 人に 1 冊はわたるはずである。

厳しい予算状況では追加印刷、郵送による対応は難しい。

- ・本年度はホームページにて対応し、次年度に向けての検討課題とする。

各部会、各委員会検討課題、報告

### 【審査員グループ】

- ・オーガナイザーからの協力金の集金方法について検討していただきたい。

協力金が集まるのを待っているのは活動ができないので、事務局より予算の仮払いを行う。そして協力金は事務局へ振り込んで。

振り込み手数料はどうするか。

審査員への R 項、交通費の支払い方法は。

振り込み手数料は、オーガナイザー負担で J M R C 中部事務局へ振り込む。

各審査委員へは審査員グループ委員長から振り込む。

また、交通費のデータ取りも合わせて行う。

- ・人選について公募採用は考えていない。
- ・ラリーについてはラリー専門部会長より人選、資料作りは行っていると報告があった。

【共済会管理委員会】

- ・全日本ラリーモントレーでおきた事故について、全国共同共済の分担金の 1,386,000 円の支払いを行うことが報告された。

この件については J M R C 中部ホームページにアップし、会員に知らせる。

- ・全国共同共済の窓口は事務局長とし、運営委員会で審議を行う。

その他

- ・炭山義昭氏が J A F スピード部会員に選ばれたが、J M R C 中部運営委員への選出については、選手会からの選出による J A F スピード部会員であることから「遠慮させていただきたい。」との連絡があり了解された。

- ・本年度カレンダー調整会議は 9 月 12 日(日)におこなう予定。

この日程については主催者会議に図り、運営委員会で調整をする。

- ・本年度運営委員会会議は昨年と同様ラック 2F で 20 時より行う。

- ・運営委員長の任期については本年度再考する。

- ・表彰式でカートの選手は未成年のため両親が保護者として同伴または、家族で出席されているが、無料としてはどうか。(未成年同伴者は無料。)

現場判断でよいのでは。

同伴 1 名は無料としてはどうか。

表彰対象者が未成年の場合は、同伴者 1 名を無料とする。

- ・パーティで車を運転されてきた方が多かったようで、ウーロン茶などソフトドリンクが足らなかつたらしく、次回には検討していただきたい。

- ・J A F 地方選手権戦の招待状が一部届いていないようなので、J A F 中部本部と調整を行う。

以上報告 総務広報委員会 熊澤滋樹